

中国の木製品の市場流通動向

中国の林業・草原産業の発展を促進するために、近年、国の関連部門は産業支援のため一連の政策を打ち出してきた。例えば、2022年発表の「林業・草原産業発展計画（2021-2025）」では、2025年までに全国の林業・草原産業の総生産額9兆元、近代的林業・草原産業体系の整備、産業構造最適化、品質と収益性の大幅な改善を目指す、としている。国の政策は、業界の発展のため良好な政策的環境をもたらし、未来は明るい。

産業集積が進んでいる。国内では供給側構造改革が引き続き推進され、環境基準のレベルアップや、監督・規制の強化により、木製品産業も最適化と変革の岐路を迎えている。国家発展改革委員会が通達し、2020年から実施されている「産業構造調整指導目録（2019年版）」には、木製品とその複合材の技術開発と利用を奨励し、アルデヒドフリー木製品などのグリーン建材の技術開発と生産・活用及び廃材のリサイクル再利用を推進する一方、高エネルギー消費・低効率の木製品生産設備・施設を制限し、遅れた生産技術・装置や製品を淘汰して行く、と明記されている。将来、木製品業界は徐々に量的拡大から構造の最適化へと転換し、生産技術と環境に対する要求がさらに厳しくなる。遅れた生産設備処分が加速し、産業の集中度も高まるであろう。需要が産業発展を促す。経済社会の発展に伴い、人々は生活の質を重視するようになり、よりよい物質的条件と住居を求め、それが木製品などの産業の発展の基礎となっている。中国では都市化と関連サービス産業の急成長が、住宅・オフィス用木製品の需要拡大につながった。現在、世界経済は基本的に回復基調にあり、中国の都市化と経済構造転換は着実に進み続けるだろう。川下産業の需要に牽引され、中国の木製品産業の市場規模は成長を続け、関連製品も刷新されてハイエンドの方向へ発展すると予測される。